

東西冷戦下、鉄のカーテンを越えて
日本へ届くモスクワ放送。

謎めいた放送局では少なくない数の日本人が
現場での業務を担っていた。

彼らはどんな人物だったのか。

知られざる日本人たちの人生模様を追った
『^{モスト}MOCT「ソ連」を伝えたモスクワ放送の日本人』が
今年第21回開高健ノンフィクション賞を受賞。

このたび書籍化を記念して、

著者の青島顕さん（毎日新聞記者）と

スペシャル・ゲストの西野肇さんをお迎えし、
貴重なお話をうかがいます。

写真：モスクワのテレビ・ラジオ塔、オスタンキノ・タワー。
ここからモスクワ放送の電波も送信された。

「嫌われた国」を伝える

～モスクワ放送で働いた日本人～

2023. **12.10** SUN
14:00-16:30

横浜平和と労働会館4階会議室

(横浜市中区桜木町3-9 / JR・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩5分)

■ 参加費：一般1,000円、会員800円

■ 定員：25名（要予約）

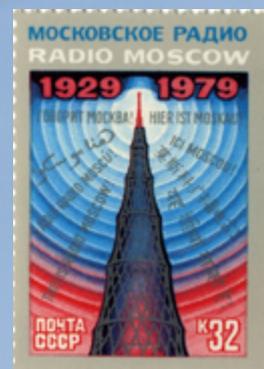
■ 主催・お申し込み・お問い合わせ：

NPO法人神奈川県日本ユーラシア協会

Tel/Fax: 045-201-3714

E-Mail: event@kanagawa-eurasia.org

ご予約の際には、参加者全員の氏名、一般・会員の区分、
緊急連絡用電話番号を上記連絡先へお知らせください。
また、キャンセルの場合は前日の17時までに必ずご連絡ください。



▲ソ連発行の記念切手（1979年）



▲モスクワ放送ロゴ

講師プロフィール

青島 顕 あおしま・けん



1966年、静岡県生まれ。毎日新聞記者。西部本社整理部、佐賀支局、福岡総局を経て、東京社会部で政治資金、秘密保護法、情報公開や公文書管理、メディアのあり方を取材してきた。ウクライナ戦争が起きた2022年、放送開始80年を迎えたモスクワ日本語放送で働いた西野肇さん、日向寺康雄さん、山口英樹さんを取材し、2023年1月8日の朝刊ルポ「迫る」欄に「旧ソ連の日本向けラジオ局 社会主義下届けた『自由』」を執筆。さらに、モスクワで出会ったシベリア抑留者や、通っていたロシア語専門学校の創設者がモスクワ放送で働いていたことを知って、ルポを全面改稿。『MOCT（モスト）「ソ連」を伝えたモスクワ放送の日本人』のタイトルで7月、「開高健ノンフィクション賞」を受賞。11月に書籍化された。